

茅ヶ崎市市民参加条例に関する 無作為抽出アンケート 調査結果

令和6年7月

茅ヶ崎市

くらし安心部市民自治推進課

アンケートの概要

●目的

平成26年に施行した茅ヶ崎市市民参加条例（以下「条例」という。）では、市は4年を超えない期間ごとに条例の施行状況の検証を行うことを定めています。

令和2年度に行った「茅ヶ崎市市民参加条例の施行状況の検証」では、大きく「市民参加条例の機会の認知度」「市民意見の取り扱い」「市民参加手続の運用」の3つの課題が導き出されました。

市では、これらの課題に対する改善施策を位置付け、市民参加の機会の情報発信、市民意見の反映状況に関する情報発信、市民参加手続の適正な運用に取り組んできました。

今回、令和6年度の条例の検証にあたって、市民の皆さまから広くご意見を伺うとともに、令和3年度からの取り組みの効果を検証することを目的としてアンケートを実施しました。

●対象

次の条件で無作為抽出した市民3,000人

(1) 抽出基準日：令和6年3月1日

(2) 年齢：基準日時点で満18歳以上

(3) 在住期間：基準日時点で3か月以上（令和5年12月1日以前より在住）

回答者数：1,013人（内Web回答者数：390人）

●期間

令和6年4月3日（水）～30日（火）

●方法

郵送による配布及び回答を基本とし、Web上での回答も可能としました。

●調査結果の表示方法など

回答割合は、すべては百分率で表し、小数点以下第1位を四捨五入しています。このため、百分率の合計が100%にならないことがあります。

1つの質問に2つ以上回答できる「複数回答」の場合には、回答割合の合計は100%を超えることがあります。

●いただいたご意見の取り扱いについて

今回いただきましたご意見は、他の市民参加の方法の結果と併せ、市民参加に関する現状の課題把握と改善施策を検討する上での資料として活用します。

今後、課題と改善施策（案）を取りまとめましたら、パブリックコメント手続等により、再度皆さまの意見をいただくことを予定しています。スケジュールについては、次のとおりです。

- ・パブリックコメント手続、パブリックコメント説明会：１２月
- ・パブリックコメント手続の結果公表：３月下旬
- ・検証結果の公表：３月下旬

【自治基本条例の検証に係る設問の取り扱いについて】

本アンケートは同時期に検証を行う自治基本条例に関するアンケートの設問を含め、一つのアンケートとして実施しました。自治基本条例に関する設問の調査結果については、「茅ヶ崎市自治基本条例無作為抽出アンケート調査結果 令和６年度実施」をご覧ください。

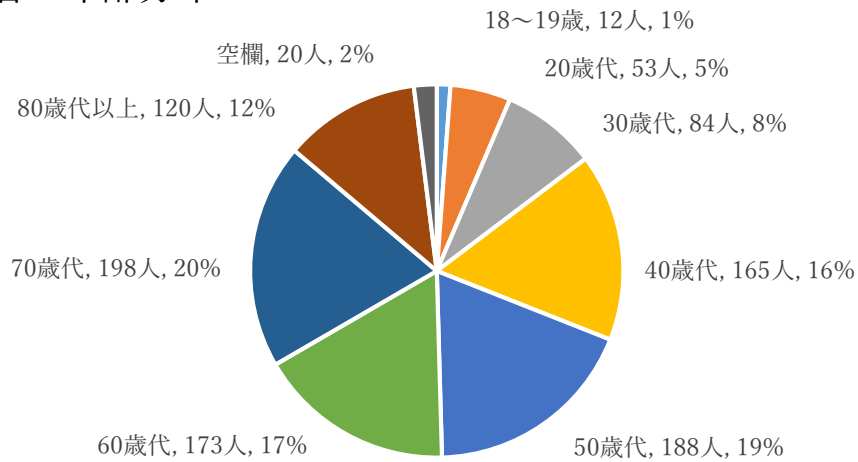
市ＨＰ：「茅ヶ崎市自治基本条例の検証」

https://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/kikaku_sogo_plan/1038809.html

アンケート結果 (n=1,013)

●設問1 あなたの年齢をお答えください。【1つだけ○】

回答者の年齢分布



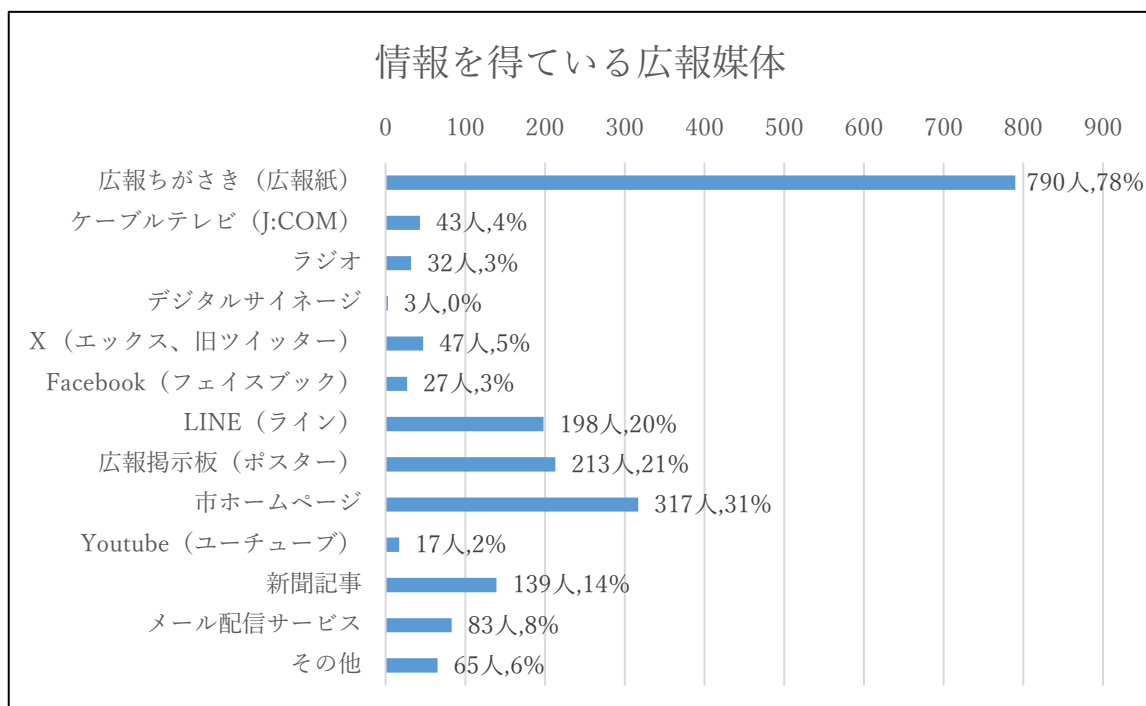
《令和2年度のアンケート結果との比較》

選択肢	令和2年度 (n=1,093)	令和6年度 (n=1,013)	増減
18～19歳	27人 (2%)	12人 (1%)	-1%
20歳代	63人 (6%)	53人 (5%)	-1%
30歳代	119人 (11%)	84人 (8%)	-3%
40歳代	173人 (16%)	165人 (16%)	±0%
50歳代	178人 (16%)	188人 (19%)	+3%
60歳代	175人 (16%)	173人 (17%)	+1%
70歳代	351人 (32%)	198人 (20%)	—
	※70歳代以上として集計		
80歳代以上	—	120人 (12%)	—
空欄	7人 (1%)	20人 (2%)	+1%

令和2年度の結果と比較して、回答割合に大きな変化はありませんでした。

令和2年度のアンケートでは「70歳代以上」として設問を設定していましたが、年代に応じたニーズや課題をより明確化するため、「70歳代」「80歳代以上」に区分してアンケートを実施しました。

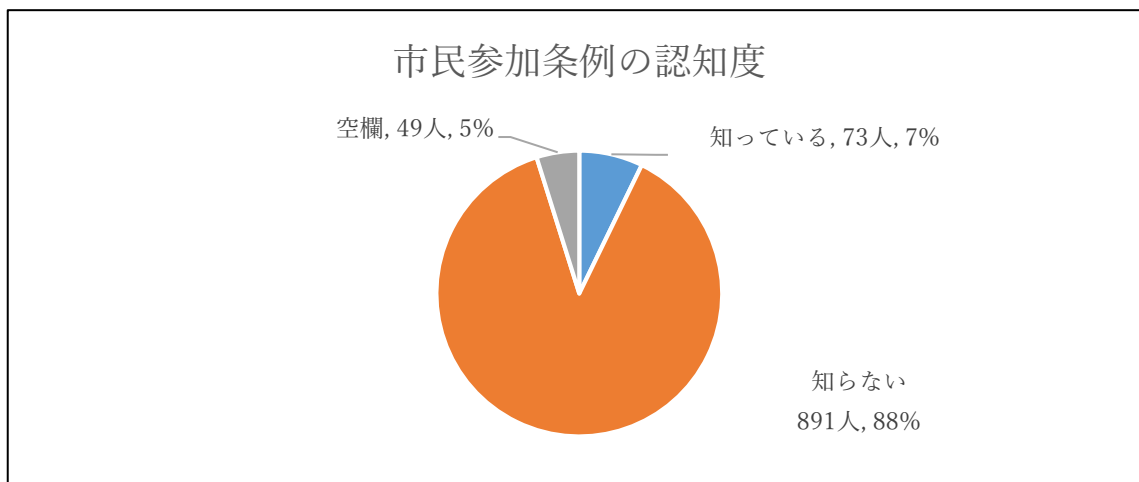
●設問2 あなたは日頃、どのような媒体から市政に関する情報を得ていますか。【いくつかでも○】



その他意見は、P. 17「別表A」をご覧ください。

設問3～8は自治基本条例の検証に係る設問であるため省略します。結果は「茅ヶ崎市自治基本条例無作為抽出アンケート調査結果 令和6年度実施」をご覧ください。

●設問9 平成26年度4月1日に施行された「茅ヶ崎市市民参加条例」（以下、「市民参加条例」）を知っていますか。【1つだけ○】

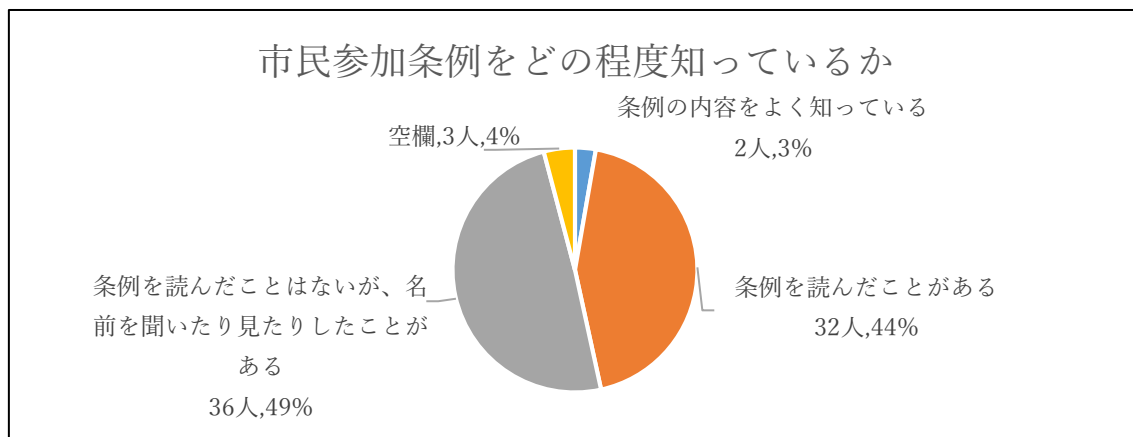


《令和2年度のアンケート結果との比較》

選択肢	令和2年度(n=1,093)	令和6年度(n=1,013)	増減
知っている	104人(10%)	73人(7%)	-3%
知らない	945人(86%)	891人(88%)	+2%
空欄	44人(4%)	49人(5%)	+1%

令和2年度の結果と比較して、「知っている」と回答した割合は3%減少し、「知らない」と回答した割合は2%増加しました。

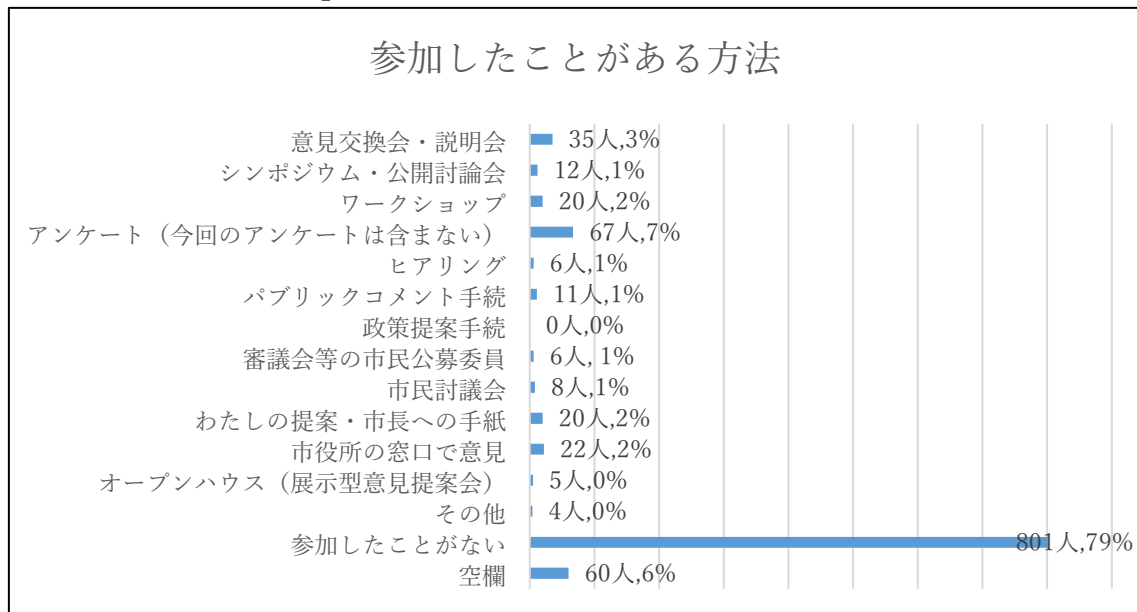
●設問 9－1 設問 9 で「1. 知っている」と回答した方にお尋ねします。「市民参加条例」をどの程度知っていますか。【1つだけ○】



《令和 2 年度のアンケート結果との比較》

選択肢	令和 2 年度 (n=104)	令和 6 年度 (n=73)	増減
条例の内容をよく知っている	1 人 (1%)	2 人 (3%)	+2%
条例を読んだことがある	38 人 (37%)	32 人 (44%)	+7%
条例を読んだことはないが、名前を聞いたり見たりしたことがある	63 人 (61%)	36 人 (49%)	-12%
空欄	2 人 (2%)	3 人 (4%)	+2%

●設問 10 茅ヶ崎市では、皆さまのご意見を市政に反映するため、様々な方法（市民参加の方法）を活用しています。これらに参加したことがありますか。【いつでも○】



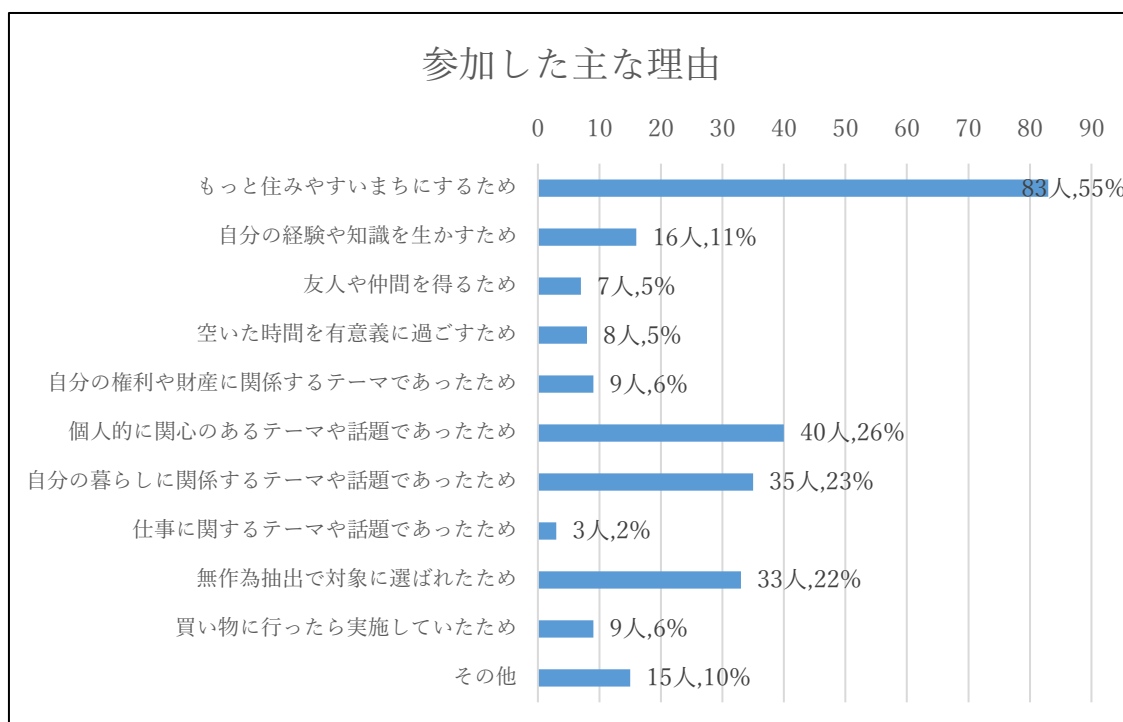
その他意見は、P. 18「別表B」をご覧ください。

《令和2年度のアンケート結果との比較》

選択肢	令和2年度(n=1,093)	令和6年度(n=1,013)	増減
参加したことがある	202人(18%)	152人(15%)	-3%
参加したことがない	872人(80%)	801人(79%)	-1%
空欄	19人(2%)	60人(6%)	+4%

設問10でいずれかの市民参加の方法に参加したことがあると回答した方を「参加したことがある」として集計を行いました。令和2年度の結果と比較して、「参加したことがある」、「参加したことがない」と回答した割合に大きな変化はありませんでした。

●設問 10ー1 設問 10 でいずれかの方法に参加したことがあると回答した方にお尋ねします。参加した主な理由はどのようなものですか。【いくつでも○】

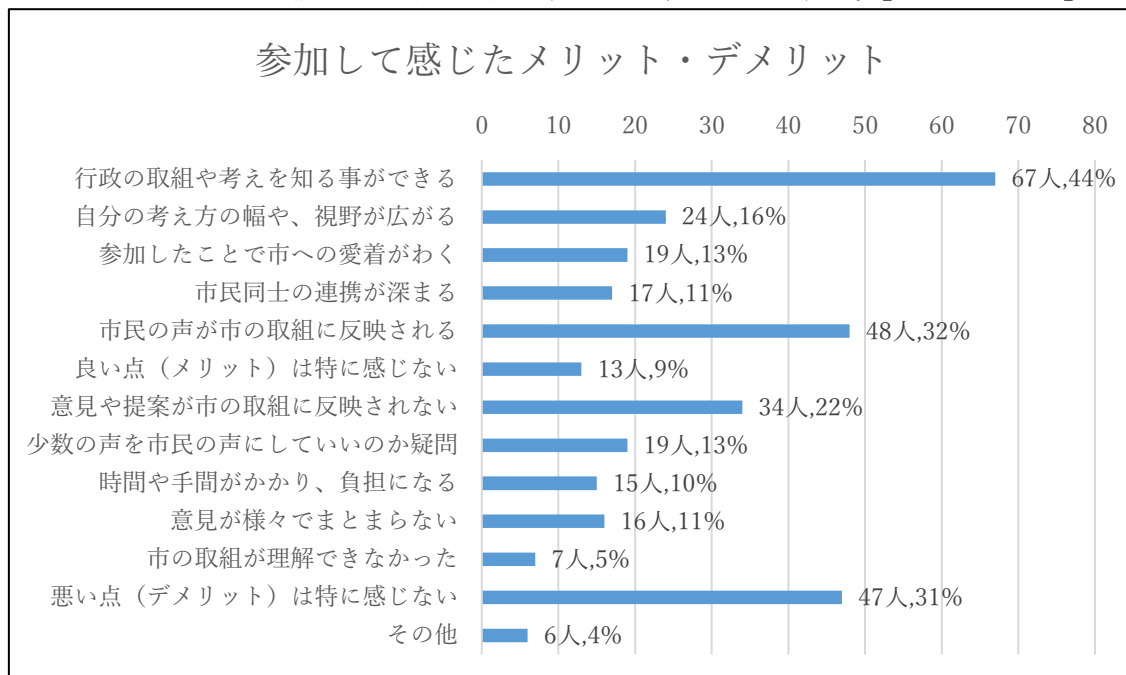


その他意見は、P. 18「別表C」をご覧ください。

《令和2年度のアンケート結果との比較》

選択肢	令和2年度 (n=202)	令和6年度 (n=152)	増減
もっと住みやすいまちにするため	88人(44%)	83人(55%)	+11%
自分の経験や知識を生かすため	22人(11%)	16人(11%)	±0%
友人や仲間を得るため	7人(3%)	7人(5%)	+2%
空いた時間を有意義に過ごすため	19人(9%)	8人(5%)	-4%
自分の権利や財産に関係するテーマであったため	10人(5%)	9人(6%)	+1%
個人的に関心のあるテーマや話題であったため	68人(34%)	40人(26%)	-8%
自分の暮らしに関係するテーマや話題であったため	60人(30%)	35人(23%)	-7%
仕事に関するテーマや話題であったため	11人(5%)	3人(2%)	-3%
無作為抽出で対象に選ばれたため	53人(26%)	33人(22%)	-4%
買い物に行ったら実施していたため	—	9人(6%)	—
その他	16人(8%)	15人(10%)	+5%

●設問 10ー2 設問 10 でいずれかの方法に参加したことがあると回答した方にお尋ねします。参加したことで感じた、市民参加の良い点（メリット）・悪い点（デメリット）は、どのようなものですか。【いくつでも○】



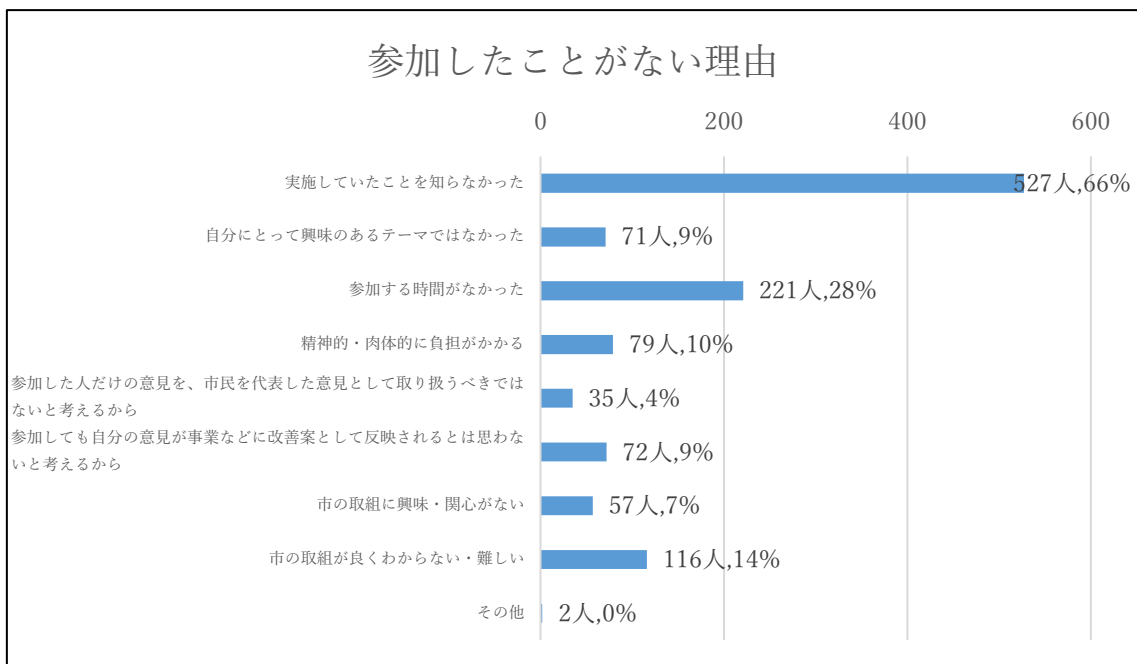
その他意見は、P. 19「別表D」をご覧ください。

《令和2年度のアンケート結果との比較》

選択肢	令和2年度 (n=202)	令和6年度 (n=152)	増減
行政の取組や考えを知る事ができる	74人(37%)	67人(44%)	+7%
自分の考え方の幅や、視野が広がる	44人(22%)	24人(16%)	-6%
参加したことで市への愛着がわく	45人(22%)	19人(13%)	-9%
市民同士の連携が深まる	17人(8%)	17人(11%)	+3%
市民の声が市の取組に反映される	34人(17%)	48人(32%)	+15%
良い点（メリット）は特に感じない	30人(15%)	13人(9%)	-6%
意見や提案が市の取組に反映されない	46人(23%)	34人(22%)	-1%
少数の声を市民の声にしているのか疑問	29人(14%)	19人(13%)	-1%
時間や手間がかかり、負担になる	19人(9%)	15人(10%)	+1%
意見が様々でまとまらない	20人(10%)	16人(11%)	+1%
市の取組が理解できなかった	18人(9%)	7人(5%)	-4%
悪い点（デメリット）は特に感じない	56人(28%)	47人(31%)	+3%
その他	17人(8%)	6人(4%)	-4%

令和2年度の結果と比較して、「市民の声が市の取組に反映される」と回答した割合が15%増加し、「参加したことで市への愛着がわく」と回答した割合が9%減少しました。

●設問 10-3 設問 10 で、「参加したことがない」と回答した方にお尋ねします。その理由を教えてください。【いくつでも〇】



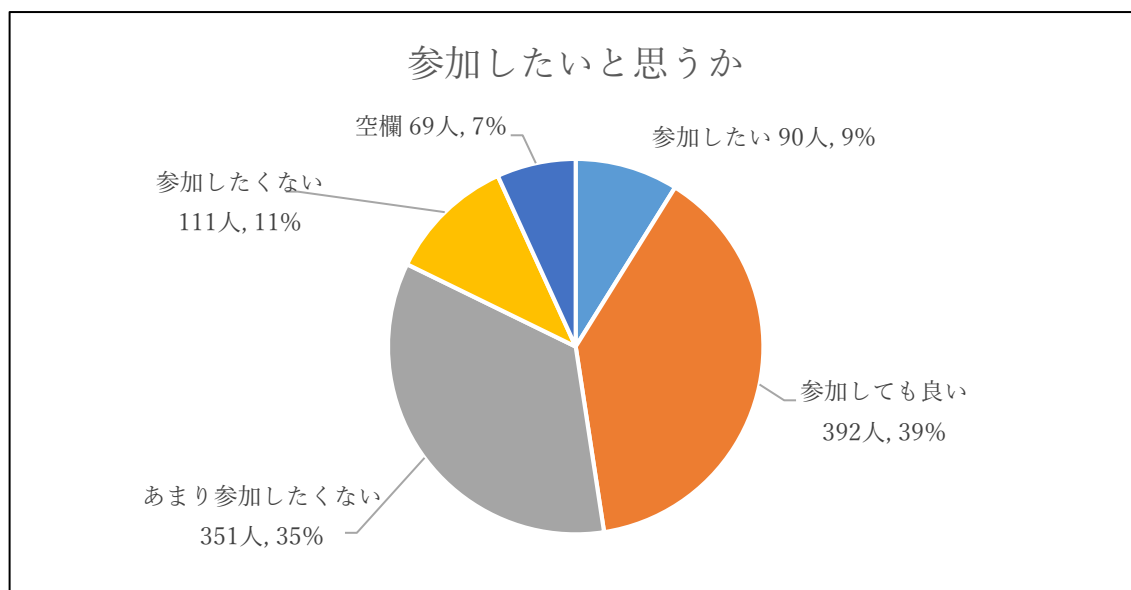
その他意見は、P. 19「別表E」をご覧ください。

《令和2年度のアンケート結果との比較》

選択肢	令和2年度 (n=872)	令和6年度 (n=801)	増減
実施していたことを知らなかった	401人(46%)	527人(66%)	+20%
自分にとって興味のあるテーマではなかった	153人(18%)	71人(9%)	-9%
参加する時間がなかった	331人(38%)	221人(28%)	-10%
精神的・肉体的に負担がかかる	129人(15%)	79人(10%)	-5%
参加した人だけの意見を、市民を代表した意見として 取り扱うべきではないと考えるから	38人(4%)	35人(4%)	±0%
参加しても自分の意見が事業などに改善案として反 映されるとは思わないと考えるから	101人(12%)	72人(9%)	-3%
市の取組に興味・関心がない	79人(9%)	57人(7%)	-2%
市の取組が良くわからない・難しい	140人(16%)	116人(14%)	-2%
その他	41人(5%)	2人(0%)	-5%

市民参加の方法に参加しなかった理由の回答割合については、設問10で「参加したことがない」と回答した方を母数として求めました。令和2年度の結果と比較して、「実施していたことを知らなかった」と回答した割合は20%増加しました。一方、「参加する時間がなかった」は10%、「自分にとって興味のあるテーマではなかった」は9%、「精神的・肉体的に負担がかかる」と回答した割合は5%減少しました。

- 設問 1 1 今後、設問 1 0 のような市民参加の機会があれば、参加したいと思いますか。
【1 つだけ○】

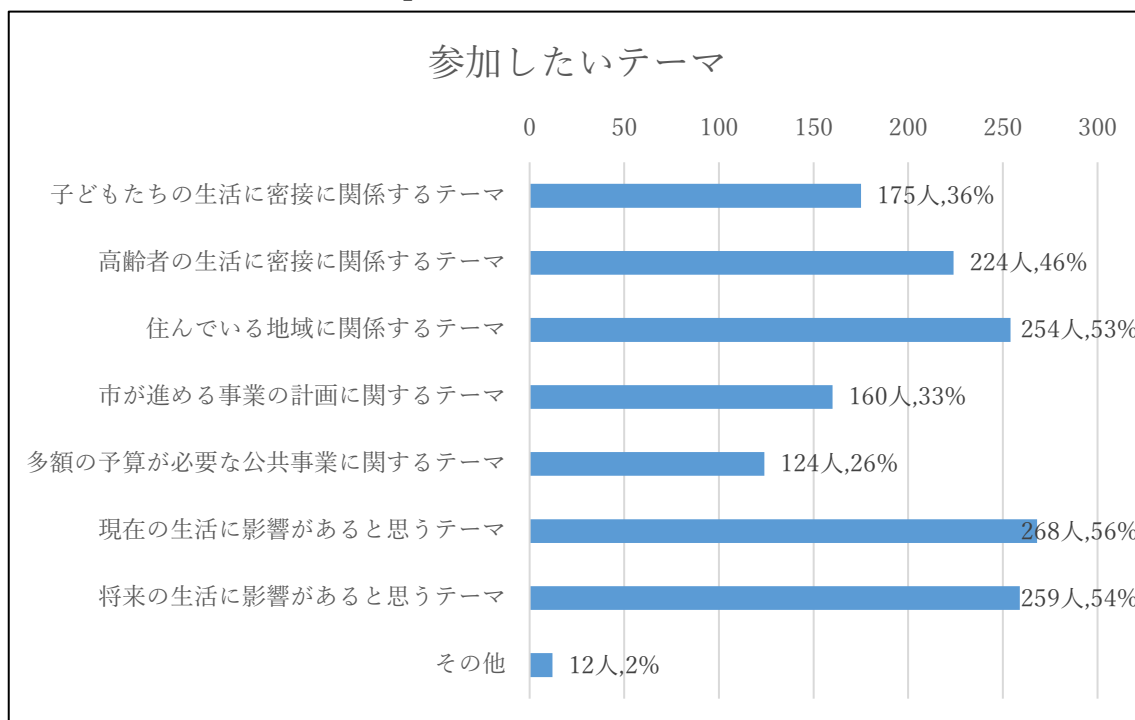


《令和 2 年度のアンケート結果との比較》

選択肢	令和 2 年度 (n=1093)	令和 6 年度 (n=1013)	増減
参加したい	77 人 (7%)	90 人 (9%)	+2%
参加しても良い	414 人 (38%)	392 人 (39%)	+1%
あまり参加したくない	431 人 (39%)	351 人 (35%)	-4%
参加したくない	137 人 (13%)	111 人 (11%)	-2%
空欄	34 人 (3%)	69 人 (7%)	+4%

令和 2 年度の結果と比較して、全体として「参加したい」「参加しても良い」と回答した割合は増加し、「あまり参加したくない」「参加したくない」は減少しました。

●設問 1 1－1 設問 1 1 で「参加したい」「参加しても良い」と回答した方にお尋ねします。市民参加では、どのようなテーマに参加したいと思いますか。【いくつでも〇】



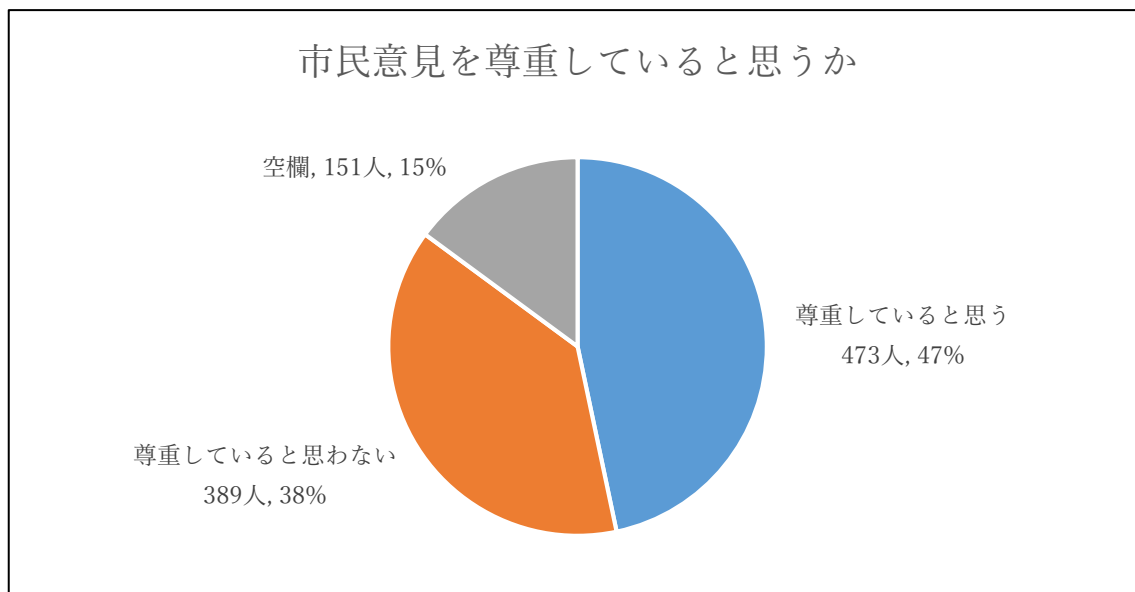
その他意見は、P. 2 0 「別表F」をご覧ください。

《令和 2 年度のアンケート結果との比較》

選択肢	令和 2 年度 (n=491)	令和 6 年度 (n=482)	増減
子どもたちの生活に密接に関係するテーマ	126 人 (26%)	175 人 (36%)	+10%
高齢者の生活に密接に関係するテーマ	215 人 (44%)	224 人 (46%)	+2%
住んでいる地域に関係するテーマ	275 人 (56%)	254 人 (53%)	-3%
市が進める事業の計画に関するテーマ	135 人 (27%)	160 人 (33%)	+6%
多額の予算が必要な公共事業に関するテーマ	96 人 (20%)	124 人 (26%)	+6%
現在の生活に影響があると思うテーマ	264 人 (54%)	268 人 (56%)	+2%
将来の生活に影響があると思うテーマ	262 人 (53%)	259 人 (54%)	+1%
その他	23 人 (5%)	12 人 (2%)	-3%

令和 2 年度の結果と比較して、「子どもたちの生活に密接に関係するテーマ」と回答した割合が 1 0 %、「市が進める事業の計画に関するテーマ」「多額の予算が必要な公共事業に関するテーマ」がともに 6 %増加しました。

●設問 1 2 茅ヶ崎市では、市民の皆さまからいただいた意見を尊重していると思いますか。【1つだけ○】

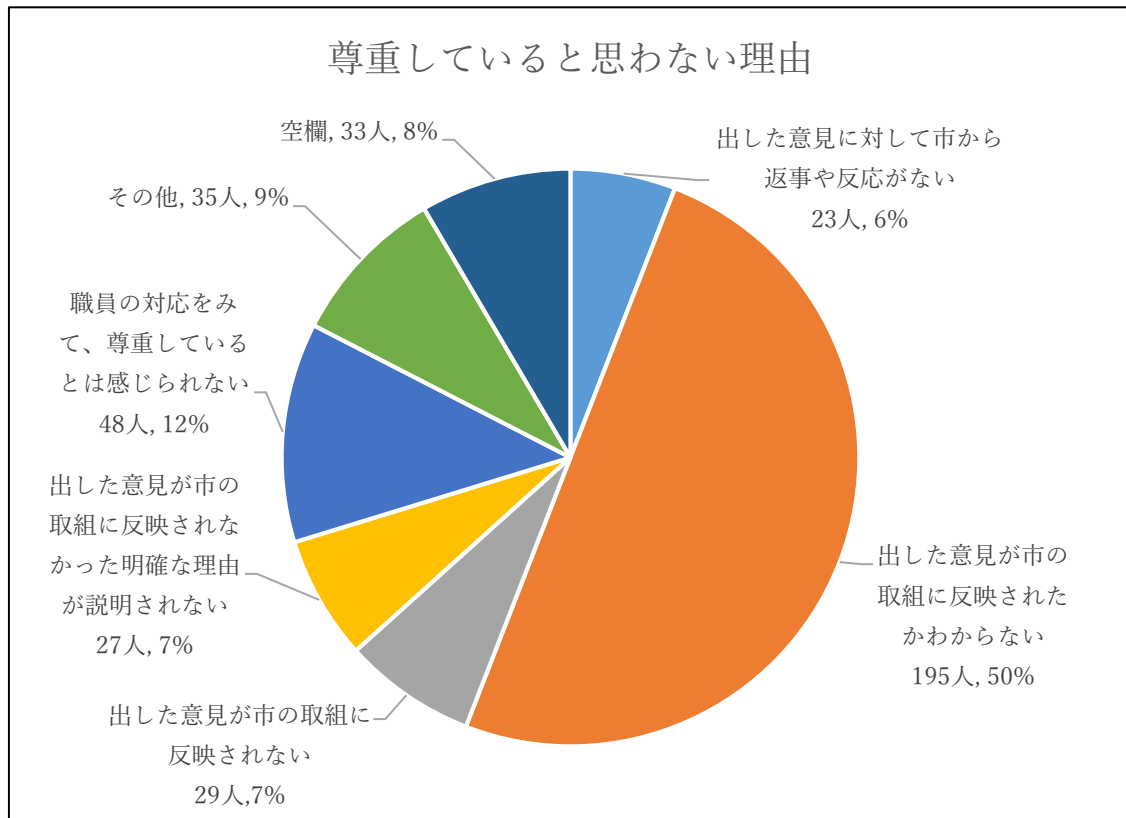


《令和2年度のアンケート結果との比較》

選択肢	令和2年度 (n=1,093)	令和6年度 (n=1,013)	増減
尊重していると思う	529 人 (48%)	473 人 (47%)	-1%
尊重していると思わない	416 人 (38%)	389 人 (38%)	±0%
空欄	148 人 (14%)	151 人 (15%)	+1%

令和2年度の結果と比較して、前回調査と回答割合に大きな変化はありませんでした。

●設問 1 2ー1 設問 1 2で「尊重していると思わない」と回答した方にお尋ねします。尊重していると思わない理由はどのようなものですか。【1つだけ○】



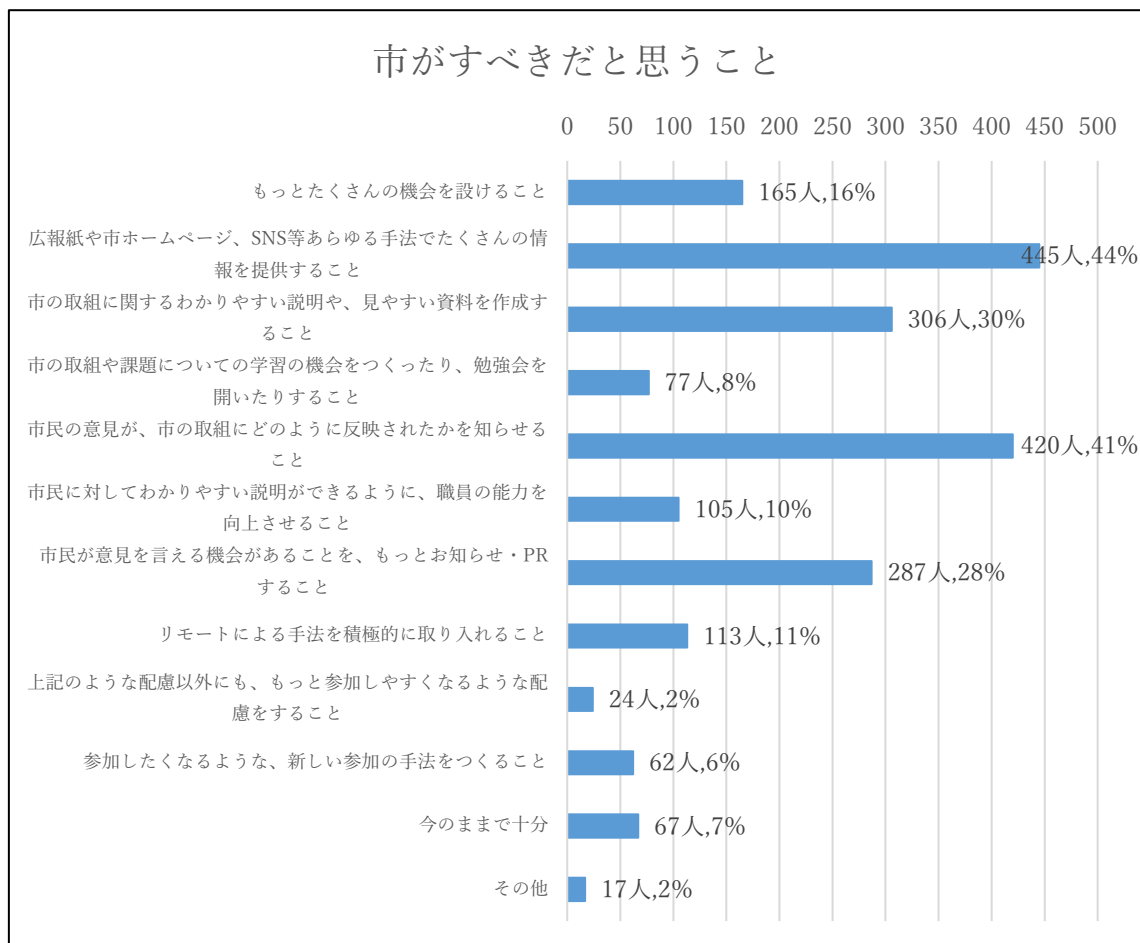
その他意見は、P. 2 1「別表G」をご覧ください。

《令和2年度のアンケート結果との比較》

選択肢	令和2年度 (n=416)	令和6年度 (n=389)	増減
出た意見に対して市から返事や反応がない	29人(7%)	23人(6%)	-1%
出た意見が市の取組に反映されたかわからない	204人(49%)	195人(50%)	+1%
出た意見が市の取組に反映されない	29人(7%)	29人(7%)	±0%
出た意見が市の取組に反映されなかった明確な理由が説明されない	27人(6%)	27人(7%)	+1%
職員への対応をみて、尊重しているとは感じられない	57人(14%)	48人(12%)	-2%
その他	53人(13%)	35人(9%)	-4%
空欄	17人(4%)	33人(8%)	+4%

令和2年度の結果と比較して、「空欄」とした割合が4%増加し、「その他」と回答した割合が4%減少しました。

●設問 13 市民の皆さまが、設問 10 のような機会に参加しやすくなり、市に対してもっと意見を述べやすくなるために、市がすべきことはどのようなことだと思いますか。【いくつでも○】



「上記のような配慮以外にも、もっと参加しやすくなるような配慮をすること」の具体例は、P. 23 「別表H」をご覧ください。

「参加したくなるような、新しい参加の手法をつくること」の具体例は、P. 25 「別表I」をご覧ください。

その他意見は、P. 27 「別表J」をご覧ください。

《令和2年度のアンケート結果との比較》

選択肢	令和2年度 (n=1,093)	令和6年度 (n=1,013)	増減
もっとたくさんの機会を設けること	136人(12%)	165人(16%)	+4%
広報紙や市ホームページ、SNS等あらゆる手法でたくさんの情報を提供すること	485人(44%)	445人(44%)	±0%
市の取組に関するわかりやすい説明や、見やすい資料を作成すること	337人(31%)	306人(30%)	-1%

市の取組や課題についての学習の機会をつくったり、勉強会を開いたりすること	58 人 (5%)	77 人 (8%)	+3%
市民の意見が、市の取組にどのように反映されたかを知らせること	489 人 (45%)	420 人 (41%)	-4%
市民に対してわかりやすい説明ができるように、職員の能力を向上させること	132 人 (12%)	105 人 (10%)	-2%
市民が意見を言える機会があることを、もっとお知らせ・PR すること	302 人 (28%)	287 人 (28%)	±0%
リモートによる手法を積極的に取り入れること	—	113 人 (11%)	—
上記のような配慮以外にも、もっと参加しやすくなるような配慮をすること	34 人 (3%)	24 人 (2%)	-1%
参加したくなるような、新しい参加の手法をつくること	117 人 (11%)	62 人 (6%)	-5%
今のままで十分	82 人 (8%)	67 人 (7%)	-1%
その他	33 人 (3%)	17 人 (2%)	-1%

令和 2 年度の結果と比較して、「もっとたくさんの機会を設けること」が 4 % 増加し、「参加したくなるような、新しい参加の手法をつくること」が 5 %、「市民の意見が、市の取組にどのように反映されたかを知らせること」が 4 % 減少しました。

●設問 1 4 このほかに、市民の皆さまが市を身近に感じ、様々な意見や提案を出しやすくするために必要だと思うことがありましたら、自由にご記入ください。

設問 1 4 の回答は、P. 2 9 「別表 K」をご覧ください。

別表 自由記述回答の一覧

自由記述の内容は、基本的に原文のまま記載していますが、一部の意見については、文意に留意しながら簡略化や文末形式の統一をするとともに、複数の同様意見については集約しています。なお、本アンケートの設問の趣旨と直接関連のない事項については掲載を省略しています。

別表A

設問2 あなたは日頃、どのような媒体から市政に関する情報を得ていますか。

のその他意見

タウンニュース（16件）
自治会の回覧板・チラシ（8件）
友人、知人、家族（7件）
インターネット（Yahoo、Google）（6件）
公民館、コミュニティセンター（4件）
インスタグラム（3件）
ハチドリのひとしずく通信（2件）
市議会議員の報告書、Facebook アカウント（2件）
職員、市議員から直接聞く（2件）
TikTok
行きつけのお店
エボラジ茅ヶ崎FM
RSS 配信
お宮さんやバス亭近くに掲示してあるチラシ
タウン誌
入手した場合の広報ちがさき
市会議員（伊藤）広報
湘南リビング
学校からの配付物
支援センター
ボランティアサークル（手話サークル茅野会）
マチイロ

別表B

設問 10 茅ヶ崎市では、皆さまのご意見を市政に反映するため、様々な方法（市民参加の方法）を活用しています。これらに参加したことがありますか。

のその他意見

町ちからに参加
ゴミの問題の会議
以前文教大学でセミナーに参加し、意見交換会に出席した。
email でお願ひしました

別表C

設問 10-1 設問 10 でいずれかの市民参加の方法に参加したことがあると回答した方にお尋ねします。参加した主な理由は、どのようなものですか。

のその他意見

自治会の役員（4件）
市役所からの自転車王国茅ヶ崎についてのアンケートに回答したことがある。
民生委員だったから
家族が死亡した時の手続きが高齢者でもできるようにしてほしい。（他市役所の対応の新聞記事を同封したけど）
藤沢、大船に比べて茅ヶ崎は活性化が少なく劣化している。
緑だった土地にマンションがどんどん立ち、人ばかり増えて住みにくくなっていると感じたため。
知らなかった
子どものため
市立病院入院中にアンケートに答えた
当家に隣接する道（水路と呼ばれています）マンホール近辺で陥没が繰り返され、当家の塀も破損したため連絡しました。
現場の市の職員の方々は大変良くやってかれていますと思います。 しかし、市民ギャラリー閉鎖のような話になると職員個人の意見ではないため、言わされている感じがよく伝わります。管理職も参加している場面があったが、部署としての発言で、本来推進している部署は参加していないように見受けられた。

別表D

設問 10-2 設問10でいずれかの方法に参加したことがあると回答した方にお尋ねします。参加したことで感じた、市民参加の良い点（メリット）・悪い点（デメリット）は、どのようなものですか。

のその他意見

行政の悪い面がよくわかる
市民の意見に耳を傾ける様な雰囲気ではなかったように感じました。
実際に「わたしの提案」や市役所の窓口で直接声をお伝えしたことがあります。回答が「検討します」という内容で、実際にそれが反映されたのかどうか、どう検討されたのかはわからなかった。ちなみに内容は教育に関するもの、道路整備に関するもの（横断歩道をつけてほしい）というものです。
○：webで連絡できるので時間的負担が少ない。 ×：対応頂いた市職員に当たり外れがある様で、しっかり対応して下さる方もいらっしゃいました。一方で、漫画でステレオタイプに誇張された公務員像そのものの方もいらっしゃいました。
市民の意見を、聞いているとは感じなかった。ガス抜きを図っていると感じた。
自分が参加したことのない市民参加には、今後も参加しないんだろうなと思います

別表E

設問 10-3 設問10で、「参加したことがない」と回答した方にお尋ねします。その理由を教えてください。

のその他意見

時間が取りづらい（2件）
転居して間もないため（4件）
自分の将来、介護、ボランティア活動などで余裕がない
同意見の人が参加したので
どういうテーマを実施しているかも知らないし現状興味がわからない
参加方法
茅ヶ崎市にきたいしていない
参加する勇気がない
具体的にその環境にない為
行政を信頼しているから参加する必要がなかった
広報等を詳しく読んでいなかった
認知症、老人ホームに入っているため
商売しており主人が28年ほど障害者で良・不良がありむずかしい。

市役所へのアクセスが悪く時間がかかる
わざわざ出かけて参加するまでの動機がない
そもそもどんな問題があるのか公表しないから
高齢のため参加できない
大阪から来て２年茅ヶ崎の市がまだよくわかりません
参加者へのその後の対応の報告はするべき。あくまで、参加者の意見は参考の上、検討に広げるか、無理として切るか、どちらも有だと思えます。参画する事への意識からスタートするのではないのでしょうか。即、形になって反映するなど思わない筈です。自分の住む街茅ヶ崎。多くの人の憧れの地を自慢したくない人は居ないはず。参加者の記念に缶バッジをプレゼントするとか。胸でも帽子でもカバンにでも付けられるステキ可愛いものを。市民の横のつながりもできる気がします。
家族の介護など自分の時間が持てない為
高齢で参加するという体力も知力もありません
近くに施設がない、意欲的にやってると思えない。
選ばれた人を信じて任せる
そもそも存在を知らない
仕事があります。休日は休みたいです。
知らなかった
興味がない

別表 F

設問 1 1 - 1 設問 1 1 で「参加したい」「参加しても良い」と回答した方にお尋ねします。市民参加では、どのようなテーマに参加したいと思いますか。

のその他意見

税金に関するテーマ
ごみ問題に関する良い案と観光客を増やす
職員教育の実際どうやっているのかがあれば
老々介護（自宅で）で時間的にいっぱい
障害者との共生についてのとりくみ
茅ヶ崎市立病院の民営化計画について
治案に関する件
身体障害者等の生活に関するテーマ
地域医療についてのテーマ、不登校の生徒についてのテーマ
市境問題、寒川町藤沢市との都市統合
道路の改修、修繕について。観光に大切な 134 号線ですら道路がデコボコしており自転

車で車道を走りずらい。藤沢区間の 134 号線と違いがありすぎる。駅前の道路と国道 1 号の交差点をビレイングペダルをつけたロードバイクでどのように横断したら良いのか。
障害者に関するテーマ
子育て支援
ほかの項目にかかるが、「環境に関するテーマ」があると良かった
観光資源としての茅ヶ崎市をどう活用していくか
子供と参加できる海や街の清掃などのボランティア活動
自然環境、景観の保護
開かれたインクルーシブな新しい公園、茅ヶ崎駅や図書館改修など公共施設
子育て世代や子供を望む人達への支援等、比較的若い世代に関係するテーマ
子どもに障がいがあるので、災害時に地域で避難がスムーズに出来るように日頃から関わっていけるようにしていきたいです。
ペット
したくないことは無いのだが現状その余裕はない
独身女性でこういったテーマとは縁がないように感じてしまいます。
地域コミュニティの活性化や住民同士のネットワーク形成の一助となるようなイベント

別表 G

設問 12-1 設問 12 で「尊重していると思わない」と回答した方にお尋ねします。尊重していると思わない理由はどのようなものですか。

のその他意見

分からない（11件）
どちらともいえない（2件）
設問 12 の回答に『分からない』が無かったのでこうしました。尊重しているとも尊重していないとも、どちらとも感じたことがありません。（2件）
1日の生活でいっぱい。余裕がない。（2件）
尊重しているか否か不明です。（2件）
市議会の人に提案したがだめだった
10年1日で変わらない市政（政治が見えない）
市民ギャラリーの閉鎖
現状の課題が興味・関心のある内容なのか不明なため
どのような意見が出され何がどのように選ばれ実行がどのような計画で進められているか全く見えない
近隣の方が苦情を訴えていますが反映されてきていない

茅ヶ崎市は変わったとか良くなったなどという人はいない
その市民の意見がわからないので尊重しているかどうかわからない←見当違いでしょうか
判断材料がないのでわからない。「どちらともいえない」と思う
意見があったとしてもその意見をどのような形で伝えるのかがわからない
意見を出したことがないため
日々の生活に追われている
その様な場面に遭遇していないので
市の職員の方は、わからないから聞いているのに親切に感じない
意見と結果を知らないので判断できない
治療、リハビリを優先しているため意見を尊重しているかどうか判断できません
市民の意見はどこでみれる？
多数決で決める以上個々人の意見が反映できる可能性が少ないのはやむを得ないか
要望が多すぎるため1つ1つになかなかこたえきれないのかも
市民の意見はどこで見られるのかわからないので、尊重されているのかもわからないです。
現状がいい状況に思えない
茅ヶ崎市はお金がないので反映させたくてもできないのでは
道路のデコボコは誰か意見を出していると思うのに。
関心なし
どのような意見があってどう対応したかの情報を私は持っていないから
昔も今も職員の対応には満足しているが、意見が反映されているかどうか分からない
個人で意見を出してなどいない。
何の意見が出て、何が尊重されているのか見えない。
茅ヶ崎市の博物館のように投資効果が極めて疑問なものを、これまた子供や年寄り（位しかいなかenと思うが）が行くのが面倒な山奥に作るなど、多くの市民の要望と無関係な箱物に多大な予算を使ってしまうから。
尊重しているかを判断する情報をいま持っていないので、「尊重しているとは思わない」にしました。正確な回答としては判断できないです。
実施していることを知らなかったため、どちらとも言えない。
そもそも理解していない
何回か質問や提案をさせていただいていますが、回答はいつも《貴重なご意見ありがとうございます》《これこれこういう理由です。ご理解ください、、》という回答で、何を言っても無駄と感じているからです
特に市民の意見が尊重された大きな事例などが思い当たらない
政治に近い市民の付度や圧力、ローカルの利権を重視しているから。
そもそもどんな意見が出ているか分からないので判断できない

渋滞が解消されない
子育てをしている世帯の生活状況の把握があまりされていないように感じる。海のイベントで観光事業は多々目立つが学校の給食や通学路などの整備などあまり進歩を感じない。
最初から方針がほぼ決まっていて、それを後付けで公式に意見を聞いたかのようにする形式的な手段に見えたことがある。
意見を出す機会がないので判断できない
不要な箱物(柳島の競技場など)を建設している
結論ありきで行われていると感じる。
提案や意見を気軽に尋ねる場がない。
サザンビーチ付近のプール跡が何十年もほったらかし
銅像はいらなかったから。サザンの方が貢献してると思う
市道の修繕がいつまでもされない。現調へきてから一体何ヶ月が経過したかわからない。
合理的な事が行われていない 例えばゴミ袋有料化、どうせ有料化するなら個別回収を実施すべき
まだ引っ越してきたばかりなので、わかりません。

別表H

設問 1 3 市民の皆さまが、設問 1 0 のような機会に参加しやすくなり、市に対してもっと意見を述べやすくなるために、市がすべきことはどのようなことだと思いますか。

の「上記のような配慮以外にも、もっと参加しやすくなるような配慮をすること」の具体例

管理職の方が立場重視で議論しないこと
茅ヶ崎は高齢者も多いので電子媒体に偏りすぎないこと
職員、議会がもっと茅ヶ崎の未来について考えること
意見箱のような物を色々なところに設置する
年代別にその年代にあった工夫をする
ラインでアンケートをとる。(簡単なもの) その反映フィードバックがある。土曜日なども開催する
コミセンのような身近なところで早めに(予定にいれられるように) お知らせパンフレットを
身近な地域で意見交換や学習会を開いてほしい。
自治会等の活用
ホームページを見やすいようにする。今月のトピックスを掲示する。
議会を土や日に開催してYOUTUBE配信。市長や議員の負担になるが平日を休み

にする
子育て中などで時間がない人でも気軽に意見を言える（かつ少ない時間で）方法があると良い
同封の資料全部読み終わらないので、意見が書けません
安心安全が目で見えてわかる。東京都のような手厚い子供手当（所得上限なし）
メールやHP上で意見を書き込めると良いのでは。
身近な場所、市民それぞれにいつでも市政や生活での疑問や苦情を伝えられる目安箱的なものが欲しい。
活字を大きくし文字を易しく理解しやすく。イラストも併用する
市長がマスコミにでる
リアルタイムでなくてもマイナンバーカードを取得している者がオフラインで参加できるように
パブリックコメント募集についてウェブでも公開されており、わかりやすいものの、コメント結果を見ると一部の少数派に偏っており、調査受付方法に問題がある様に感じる。
多額の費用を伴う施策については、まず周知が大事なので、茅ヶ崎駅や図書館、茅ヶ崎市の関与している店舗等に事から周知、パブコメの実施をしっかりと宣伝すべき
お役所仕事の考えでいいないで、人に意見を聞く前に自分がかかわって、アピール出来るように改革してください。
SNS による情報発信
何を言っても無駄と思ってします。茅ヶ崎はどこの市よりも1番福祉や子育てや何もかも遅れている
自治会に入っていない人が増えている今、広報を自治会で配って届ける方式だけではなく、もっときめ細かい対応が必要だと思います。あと、大体困っている当事者は日々の暮らしで追われて、行政に声を上げることが難しいことも多いと思うので、市側から意見を吸い上げる仕組みが必要だと思います。
子連れでも参加可能な会の開催
30分程度にするなど、ごく短時間で開催できる形にすること
高齢者と若者では異なる手法が必要。学校との連携なども。
平日働いている人も参加しやすいような配慮が必要
そもそも興味がない以前の、知らない市民に、このような取り組みを市が行っていることを周知させることが必要だと思います。
気楽に参加できるスタイル、たとえばフリマ参加と同時に参加できるとか 普段の生活スタイルは皆さまざまなのでわかりやすく、参加しやすいがいいかと思います。
近隣の学校や大学など学業の場所での、市の取り組みの説明会や機会に参加しやすい環境作りをしても良いと思う。
案はありません。それを考えるのが職員だと思います。

アンケートなどの気軽に答えられる機会を増やしてほしい。学校の配布物や自宅ポストに手紙など。気軽に WEB 回答ができればもっと市民の声が上げやすくなると思う。
小、中学生から学校で考える機会、考える習慣を身につけさせる。人任せにしない。
大人だけでなく子供たちと共に学べる、知れる機会の創出ができると、参加のハードルが下がると思います。

別表 I

設問 13 市民の皆さまが、設問 10 のような機会に参加しやすくなり、市に対してもっと意見を述べやすくなるために、市がすべきことはどのようなことだと思いますか。

の「参加したくなるような、新しい参加の手法をつくること」の具体例

zoom 討論会、市民集会など自宅から参加できるもの（5 件）
市が考える事だと思う（2 件）
イベントなど
報酬を支払う
説明会などいろいろな種類の話題で参加の予約なし男女年齢不問で入りやすい場面が欲しい。
参加したくなるような講座を多く開催する
意見交換会・討論会のみでは参加をためらってしまうので、何か参加型イベントと併せた企画であれば心うごかされる気がします。街コンとか
気軽に話せる会であればいいがお知らせだけだと出にくい
今問題課題になっている事象を公開する
オンブズマン制度の導入とその参加
藤沢市の広報をみると参加したいと強く思う。
インターネットをできるものを所有していないので、インターネット以外の方法でも市政情報を提供していただきたいです
あき高田市丸山市長参考に
高齢者にはまず、送迎の手配がなければなかなか出席しにくい
イベントなどにタダ券など配ったり、ささやかな手土産などメリットがないとなかなか参加しないと思う。貧乏市だからしょうがないね。ごみ収集はよくやってくれてありがたいと思っている。
買い物のついで、通院のついで等に意見提出可能な方法を考えてほしい。
アプリを作ればよい
対面では話しづらいこと（言いにくいこと）を聞いてもらいやすい方法を考えてほしい
市長がマスコミにでる

市に意見する手段を大々的に広報してみたらいいのでは。LINEの欄に分かりやすく
意見をつのる等。現状私はこの様なアンケートが届いた際しか手段を知りません。
参加者募集広告の活用（部門ごとに）、応募者多数の場合は抽選とか
茅ヶ崎居住年数別のコミュニティを作って気軽な意見交換の場を役所主催で定期的開催する
茅ヶ崎での計画や事業であっても、広域だったり国全体の施策に基づくものもあるので、そうした社会の動向を知らせる機会があるといい。
私の勝手なイメージですが、市政に物申す！といったスタンスの方が集まっているようなイメージがあり、気軽に参加できるような気がしないので、テーマを掲げて参加者を募るのではなくて、例えば今日は子育て中のママ達でお茶しませんか？ぐらいの緩い集まりの機会を設けて、その雑談の中からこうなったらいいな、こんな事に困っているという要望などを拾い集めていくようなものだったら参加しやすいかなと思います。一度も参加した事も、しようと思った事もないので、すでに行われていたり、見当違いの意見でしたらすみません！
対面やZoomなどに加えて、例えばメタバースなどの導入を検討してほしい。ユーザー登録なく、時間や場所の制約を受けず自由に参加できるし、アバターで匿名性を担保でき、参加ハードルが低減できると考えます。
企業とコラボとかイベントを通じて
1日茅ヶ崎市長のような、茅ヶ崎市を大きくPRできる場を設け、それと同時に意見交換会などを実施する（混乱を防ぐために、一定数の方が呼び込めるような人が望ましい） 3人のスポーツアンバサダーの協力のもと、種目などを紹介し、その中での意見交換する場を設ける（何かに特化した参加者参加型イベントを開催、参加者に簡単なアンケートを答えてもらう）
それを考えるのはわたしたちなんですか？
新しい手法として、デジタル化が当たり前になりつつある今、若い世代の方々が気軽に市政に関わるために、大人数のユーザーが同時に参加できる仮想空間（メタバース）など、親しみやすいのではないかと思います。その中で市の取り組み、課題、提案、あらゆる情報共有や告知をしたり、オンラインイベントも定期的で開催すれば、新たな人と人との繋がりが持てたり様々な出会いの場としても活用できると思います。
もうあるのかもしれないけど、気楽に話せるような趣味の会やお菓子を作ったりつまむ会で困りごとを気軽に話せる会をやってみては
ポイント還元、何かしらの優遇、優待
子供との参加型や、小中学校への働きかけ、見やすいチラシ
具体案がすぐには浮かばないが、それぞれの年代に即したテーマが必要
人が集まる場所に人は集まる。楽しい空間、場所の提供と活用。

別表 J

設問 13 市民の皆さまが、設問 10 のような機会に参加しやすくなり、市に対してもっと意見を述べやすくなるために、市がすべきことはどのようなことだと思いますか。

の「その他」の具体例

アナログですが看板をたてる。ポスターを活用、月間スケジュールを立てる。目安箱のような箱も有りかもしれません
茅ヶ崎市に住んでまだ 2 年足らずで茅ヶ崎の様子がよくわからない為
生活の中で目に入るような P R 方法（ポスターなど）を色々な場所に掲示してほしい
現役世代はなかなか参加できない
市長の姿が全然見えない（政治的に）
市民活動ができるように市民の財力、余裕がアップすること
掲示板ポスターで知らせる
もっと身近の感じられるようになるとよいのになと思います
わからない
広報紙（紙の）は不要だと思う
こどものころから参加する教育をしてください。
高齢のため市の法令その他参加することはできませんが良い住環境で平和に暮らしていられるのも皆様の努力のおかげと感謝しております
以前学区内（自治体）の役員の時（青少年指導員）自治体の会議で要望が出ればちゃんと伝わっていたように思う
年齢的にその環境にないため
市民の義務についての P R も大事。交通ルールの遵守等
赤羽根の人が市役所に行きやすくなるようにコミバスを通してほしい
現在茅ヶ崎に住んでこれといった問題はありますが、このような取り組みがあることは大切なことと思います
公民館などに出向いて直接話をしてもらったほうが良い。
自分自身が市政にもっと関心をもたなければならないと感じた
平日の昼間に機会を設けても多くの市民は参加できない。平日なら夜間（次の日が休み）土日に開かれるべき。納税者の多くは平日の昼間は税金を払うために働いているホームページに「掲示板サイト」をつけ自由に書き込みができるようにしたほうが良い
茅ヶ崎に住んで 9 年目、横浜に仕事に行って帰って寝てなのであまりかかわっていませんが時間ができた得色々見えてくれんでしょうね
市長、市議会議員。職員の方々ごくろうさまです。
不快な言動の民生委員を替えなければ、市の行うことに参加したくない
みなにわかりやすい言葉（お役所言葉ではなくて）で情報提供や説明がしてもらいたい。最近で特に目立って良い報告説明は「杉本けいこさん」のちがさきレポートはだれ

にでもわかりやすい言葉での説明で納得がいった。
例えば子どもに関することであれば、学校の懇談会に入ってアンケートを配布してその場で記入して回収する。市の体育館でスポーツの試合があるときとかに観覧席でアンケートを配布してその場で回収する。後から提出とかではなく、その場でタイムリーに行うほうが、件数が集まると思います。
形式にとらわれた会議とかでなく、もっと気軽に市民が要望、提案を出せ回答（理由）を聞ける仕組み、市からの一方通行のトップダウンでなくもっと市民の意見を取り入れ吸い上げられる仕組み
いわゆるクレーマーのような意見、非常に個人的な事情によるものによる意見、そういうものに市や市の職員も時間がとられてしまうことがとてもむだなので、誰かれかまわず意見をオープンに聞くという機会もそれはそれで問題がある気がします。有効で公平な意見を効率的に集めるのは難しそうですね
市主催の文化的レベルの催し物が少ない。
高齢のためわからない
2022 年に第一子出産し子育てしていますが最近始まったプロジェクトからはもれてるように思います。たくさんの支援を始めていただいているように思いますが、本当にかゆいところに手が届いていないと感じます。何を利用するにも開設時間が合わない、手続きがややこしいなど、病後児保育やファミサポを利用したくてもそこまでたどり着けません。まず、このような意見をもっと手軽に伝えることができれば良いと思います。
PC、スマホなど使えない高齢者世帯に往復はがきを送り「今困っていることどうなると助かるか等」大きな文字で 2 問くらい書いてみるのはいかがでしょうか。反応がよさそうでしたら少し多くしていきNGでしたらすみません
まず平日に招集されても参加できません。仕事があるため。マイナカードで本人確認は取れるのですから、リアルタイムでなくてもインターネット環境があれば意見を募れるようにしてください。
全ての意見を取り入れて活用するのは難しいとは思いますが、ある程度的是はずれな意見も言える雰囲気などがあれば言いやすいのかなと思います。空気が重い感じですね。多額の費用を伴う施策については、市民にメールやLINE でパブコメをしっかりと取るべき
職員の理解度、接しやすさ。聞いても、たらい回しにしない責任力
市民教育を促すには、早い段階で全員関わっておくとよいと思います。なので、小学校や中学校に、出前授業などをして、自分たちで話し合い、合意形成をし、決めていくという経験をするなど積極的に行うのはどうでしょう。先生方にやらせるとなると、日々の負担が大きいと思うので、市役所の業務を精選していただき、人材を確保できたら 1 番いいと思うのですが。
今回のようなアンケートも、茅ヶ崎市の LINE の公式アカウント(申し訳ございません)

が存在しているか存じ上げません)の様なものに、アンケートフォームを埋め込み、回答させ、それに加えて、フォローすれば茅ヶ崎市の情報を定期的に配信すると言った形式にすれば、茅ヶ崎市はアンケート回答を得られつつ、市民に対して情報を提供する一つの手段を提供できるのかと思います。
ネガティブな結果でも広報すること。
市立病院の経費など将来にわたって茅ヶ崎市の大きな行政課題になる事項については。糊塗せずに市民全体に、財政状況や利用実態等に関する他の公立病院との比較などを明らかにするなど問題提起と理解を求める情報公開も必要ではないか。
小学生又は中学生が模擬的に体験できるイベントを開催する。漠然とでも社会の仕組みを理解して欲しい。
市民が直接意見を述べる場と、市議会議員が活動することと、どのように整理するのだろうか？議員を通して市議会で検討してもらおうようにもなっていないようにも感じる。
簡単でよいので議事録的なものを公開すること。もう行っているのであれば、目に留まりやすいように工夫すること
参加はしたくないが、傍聴はしたい人もいる気がする。

別表K

設問 1 4 市民の皆さまに市を身近に感じ、様々な意見や提案をいただくために必要だ
と思うことがありましたら、自由にご記入ください。

独居死を防ぐ為の取組み。友人が世田谷区に住み奥様を昨年亡くし本人も持持もっている。高齢福祉課に相談した処見守りサービス提供を開始された。(命に危険感じるとき、首にぶら下げたアラームボタンを押すと委託会社がかけつけてくれる仕組み(セコムの無償版)←茅ヶ崎はどうなっているのかな。サービス提供判定レベル不明)
各地域の自治会を通して意見や提案を吸い上げ集約し運営に反映させること
保険料等紙ベースへ移行していきますが、生活に密着しているものをわかりやすく冊子等を作っていただきたい
基本条例をイラストに出来ませんか
提案したことがもしできないのであれば理由を言ってほしい。意見を聞いただけで終わってほしくない
市民の意見を尊重することは大切だが市行政を職員が自信をもって取り組んでください。
最も身近かないわゆる『団らん』『町内会』なる制度があります。当基本条例との関係のありやなしや、理解できません。活用出来るものなら有効にも思えますが無関係であ

るならじゃまにもなります
市長のヤルキ職員の皆様の（なぜ市職員として働いて）いるのか結局は方々の心がどこに向いているのか問題
市民による業務監査
まず茅ヶ崎市民で幸せだなという自己肯定感を持っていただく。皆さんが自分のように茅ヶ崎市を好きのいなってもらうこと
茅ヶ崎市の端に住んでいるため市の中心（茅ヶ崎駅）のことはよく知らないしコレラ側は特に市の恩恵を受けているとは思わない。茅ヶ崎市に住んでいるという感覚がない。
いろいろやっているようなので良いとは思いますが、その内容を公表したり、今、市では、〇〇な意見、感想が欲しいなど、市と市民のコミュニケーションが大事です。市が抱える問題、市民が抱える問題を強力して解決してよい茅ヶ崎にしてほしいです。
このアンケート用紙、3，4ページが入っていませんでした
香川公民館にいつもお世話になっておりますが、どの職員の方とても親切に対応くださいます。そのようなところから市に対する気持ちも変わります。
70 歳以上の人間には細かい字の説明はわかりにくいです
インターネットやスマートフォン以外の方法で市民と市が自由に安全に通信できるような（諸手続きもONLINEでできるような）独自の通信網を作してほしい
条文全文→読み気にならない。保険の約款とおなじ
自然災害の地震や津波などが心配、不安ですが具体的な防災対策が市としてほとんどなく海に近いだけに不安、現実を見据えた対策を地域ごとの避難場所等（高い建物等）を真剣に進めてほしい。
茅ヶ崎市の財政を助けるために市民及び他の市民等も誘致したほうが良い。博物館ももっと新しい企画が欲しい。子供たちが楽しめる職業体験や「どうやって〇〇が出来るか？」など考えられる催しなどしたらどうだろうか。
自治体が家族（父母・子供・祖父母）を中心としていた時代の考えのままではなく、いろんな生き方、考え方を尊重した個を大切にして個人個人に情報などを届けられるように変化していかなければ良いのだけれど有益な情報も知らなければ意味が無くなってしまう。
茅ヶ崎市役所の組織と役割がわからない
アンケートを自宅に郵送いただければ時間のある時に回答出来て参加しやすいと感じます
現在 85 歳で体力的にも肉体的、頭脳的にも考査できる状況ではないことをご理解ください
私にはwebではなくこのような紙面のアンケートのほうがやりやすいです。デジタル化が進んでいく世の中ですが、紙面でアンケートや提案をするやり方も残してください 首都直下型や南海トラフの地震の可能性が高まっているといわれているので、地域力向上と市にやっていただくだけでない協働の意識づくりは大切と考えています。できるこ

とは、自助で進めたいとは思っておりますが疑似体験する機会が増えたら参加したいです。
市のイベント（おまつり）などがひらかれるといい
市の職員があらゆる機会にニーズを吸収するのが一番大切、能動的に利用料の無償化の手続きをオンラインでも実施出来るようする等、オンラインでできる事の幅を広げてほしい
公民館活動に入れる。政策の一項目をテーマに勉強会を設ける
市の取組に関するわかりやすい説明や、見やすい資料を作成すること、市民が意見を言える機会があることを、もっとお知らせPRすること
老人の喜ぶ企画をお願いしたい
国がやっていることが市民に不利益になる時は反対してほしい
茅ヶ崎に住んで10年、いまだにどんなところかよくわかりません。もう少しPRするなりイベントを増やすなり理解できる場所がふえるといいですね
ゴミの有料化に伴って説明会に参加し、意見を出しても、返答が少極的で袋の高額で藤沢市と比較しても倍の価値になっている。何を話してもダメ出来ないで終わって市政参加に積極的になれない。
身近な課題テーマを目的としつつその中で市政施策について報告広報を合わせて行うなど工夫が必要
目指すまちの姿を具体的に明確に提示すること
公民館やコミセンの会場をとおして市のアピールを実施してほしい
この機会に市制に関心をもって情報を集めたいと思います
なにしろ、簡単な言葉での記入説明報告が一番、外国の方に対しても。普段使う言葉は大切。
市民がどんなことを市に求めている、それがどれくらいの人数でそれが実施できたか出ていないか、それはなぜなのかという所が簡単に私の目には届いていない。私の視野が狭いからかもしれませんが、LINEニュースのような毎日少しずつの情報公開（読むのに長時間を要さない為）が目につきやすく、読みやすいのかなと考えました。 私は、子育ても終わり介護などにも関わっていないので、市政には無関心な時期だと思ってます。広報誌は見てますが、文字が多くなかなか読む気になれないのが現状です。改めてホームページを見ましたが、以前より見やすくなってました。これからは関心を持てたいです。
高齢の為自治会に入っていない（自治会当番の仕事（文書）配布など）が身体的な事情で大変だから。しかし、広報などは配布してほしい。税金はきちんと払っているし、ごみ当番などはやっている。苦情、依頼について相談した場合、その現場を見に来てほしい。
若い人が気軽に参加できる形。高・大学生、老人の偏った意見ばかりではダメだし、新しく来た海沿いに住んでいる人たちのいけんばかりでもダメだと思う。

意見、要望、提案を簡単に出来る具体的な方法を分かりやすく案内していただく
公民館などに要望書など設置して頂く
今皆様忙しいのでなかなか市政までは関心が持てないのではないかと思います。もっと関心を持てるようなお知らせやポスターを作ったらどうかと思いました（パッとみて）
市の活動に参加するにも時間、曜日が自分と会わずむずかしい
海側、駅近だけもりあがり山側の茅ヶ崎も盛りあげてほしい。
ゆかりの人物館、歴史博物館などの紹介をもっと積極的に表示してほしい。そのことが市を身近に感じさせる方法の一つであると思う。
まずは市役所職員の窓口対応を改善してください。こちらの話も聞かずに話を通そうとしてきます。忙しいかどうかは問題ではありません。
茅ヶ崎市は高齢者が多い。ネットは苦手とするひとも多いのでアナログの手法として目安箱的なものを高齢者集まるジムなどに置いては。
茅ヶ崎市の歴史を知りましょう（昭和以前の）
笑顔はとっても素敵なプレゼント、あらゆる勤勉な働きには価値がある、いつもみえないところでの惜しまない愛ある健全思考の働きと温かい気遣いに感謝します
意見や考え、疑問をいつでも市民から伝えられる目安箱が欲しい。定期的にアンケートや（返信）k e t c .） 駅で意見聞いてもらえる機会があれば良いです。
65 歳以上の高齢者に今後どう人生を過ごしていきたいかアンケートを取り高齢者へのルール作りを図っていく。市及び市の会社が応援していく方法
意見交換会の実体は、私には市当局の市民に対するガス抜き行為としか思えてなりません。職員一人一人の茅ヶ崎市をよくするという熱意がほしい。「うみかぜテラス」の利用料金が安い。窓口で聞いたところ、料金は近隣の藤沢・平塚・大磯などではなく、逗子とのこと。全く理解できません。
市の政治、行政に参画するのは市民の権利ではありますが、義務でもあります。この義務を果たすためには秘密なしでタイムリーに市民に必要情報を開示することが必須です。文書ではなくインターネットで！！
市外から転入してこられた若い方々のサークルや団体と市が結びついて行っているイベントやお祭りなど、まちづくりとのつながりが増えているのかなと思われる一方、年配の方や古くから茅ヶ崎に住んでいる方々のまちづくりへの関わり方が難しくなっていたり、分かりづらかったりするように思います。
子供がいない家庭は情報が入る場所が全くないので、茅ヶ崎市の事全く知らないで、子供・高齢者以外のコミュニティがほしい。
茅ヶ崎FMの活用
高齢社会になりこれから助けていただく事が増えてきます。手続きがスムーズできがねなく利用できるよう、お願いします。
市民が提案した時にそれは市が直接管理していない各地域の管理と回答するのではなく、一度提案を受け留め、今後、市市民にとってプラスになるかもしれないので「これ

までは～だった」をやめ今はどうかを考えてくださるとうれしいです。
文字数の多い広報誌等は基本読まないと思います。子育て世代が多いと思いますので、概要がパッとわかる紙媒体配布と詳細を記載したHP等うまく活用するのが良いかと思います。
駅で選挙の紙ではなく広報紙などをたまには配布してほしい。えぼしまろのグッズを増やしてほしい。
何かをはじめるとしてもSNS以外で市民の目に触れる場所を作してほしい。掲示板を各所にもっと増やすなどしないとお年寄りには情報を得る機会があまりにも少なくSNSに重点を置くのは良いとは思えません。
今回のような無作為な方法により、参加を依頼すること
市民の意見（特に若い世代）を積極的に取り入れて欲しい。若い世代は平日の昼間に時間を割くことはできないので、聞き取りを行うのであれば、多くの候補を用意いただく必要があります。また、意見が反映されないとわかると参加意欲は下がると思います。多忙な現役世代が市民参加できる様、ウェブでのパブリックコメント、意見陳述できるよう願います。なお、その際には主張の多い少数派に迎合することのない様にマイナバーを活用して欲しい。
市外の方から「茅ヶ崎は市民協働が進んでいてうらやましい」と言われる(回答者自身が中間支援組織にいるため)。普段の生活では実はあまり関わりを持っていないので、機会をつくりたい。
話しやすい環境を整えていただきたい。窓口の対応、電話対応含め、毎回腹が立って仕方ない
ごく一部の人のみが当事者意識を持っていて、それ以外は無関心に感じる。多様な市民が全員参加型でまちづくりに興味をまず持ち、いずれ参加するように推進いただきたい。
移住者や観光客は増加していますが茅ヶ崎市の取組やアピールは不足しており、非常に勿体無いと感じます。茅ヶ崎FMを市役所前に開設した事は素晴らしいです。更にコミュニティを広く発展させてください。
市長がSNSを通じて財政について発信してほしい。財政難なのであれば、なぜ市の認可保育園や学校ではなくお金がかかる市庁舎をまず建て直したのか教えてほしい。
自治会の回覧板で意見を募集していることをアピールしてほしい。
提案をしたり市政に参加したりは大切なことだと思うのですが、日々の余裕がほとんどなく、時間的な制限が厳しいです。市役所の方もそうなのだろうと思うのですが、様々な業務の改善、精選、働き方改革(確実に誰もが17時に帰れるなど)を進めていくことは自分の生活だけでなく、他の人の生活に目を向けるためにも必要なことだと思います。その部分もぜひ大切にしていけたらと思います。
様々な意見を下さいと言われると、広過ぎて書こうと思えないので、その時に必要な事を特定して期間限定で意見を求める。LINEのホーム画面に今週の質問的な目立つ表示で

簡単に答えられる形式で入れる。市役所や公民館の目安箱を特定の事案に限定して毎週違う意見を求める。パッと見の景色が変わると気にして見るかもしれません。
大人数の意見を纏めることは大変ですが頑張って下さい。
以前は体育館に行くときに市の取り組み等に触れる機会がありましたが、今改装中で身近に代替もなくこのところ行政施設やサービスに足を運ぶ機会が無い。早く再開してほしい。
市の問題なのか、県の問題なのか分からないが、子育てや教育に関する支援が少ない。会合に多数参加することが大事だと思います。
障害者(失語症)に最近なったので、その辺りの事をもっと色々とわかりやすくしてもらえるとありがたいです。
SNSをもっと有効に使うこと
市のデジタル化推進についての意見です。河野太郎氏のお膝元ゆえ、トップランナーになるべきと考えますが、いまだかつてペーパーレスになっていません。例えば公民館やスポーツ施設の申し込みはネットでできるのに、その確認書はペーパー。番号で管理できるはず。例えば申込みをキャンセルするには、その確認書(許可証?)を提出の上、キャンセルのための書類の提出を求められたり、、図書館のホームページがリニューアルされましたが、誰がそのシステムを選んだのでしょうか?業者に丸投げ?利用者無視としか思えないような改悪と思います。今まで無料だったスポーツ施設の駐車場の有料化ですが、受益者負担の観点から反対ではありません。その収益が市に入るのならいいのですが、施設管理者に行くとのこと。こうしたほうが市の負担が減るのでしょうか、、駅そばのネスパが閉鎖というのも、なぜ?と思わざるを得ません以上は、市のホームページの意見欄に書かせていただきましたが、その欄をもっと目に付くように工夫してください
市民が自ら参加することにより、行政がよりよい方向に変化することが可能ということを知ってもらい、自分ごととして捉えてもらうこと。
市役所の職員さんについて 窓口の職員さんが忙しく働いているのは結構ですが、それで対応が杜撰になってしまっている気がします。今は誰でもスマホを持っているのだからもっとウェブを充実させて使いやすくすると良いと思います。スマホで解決すれば市役所へ行く必要もなく、窓口の混雑も緩和するのではないのでしょうか。ネットが使える人はネットで、そうでない人や直接窓口の人と話がしたい人は市役所を訪問するようになれば職員さんも、もう少し余裕を持って対応できるんじゃないのでしょうか。結果として良い対応ができるようになっていただけたらありがたいです。よろしくお願いします
様々な方法への意見収集に努め、ひとつひとつ丁寧に回答、対応していくことが必要。
積極的に住民投票の参加。市民の声を市や県、国に上げてもらう。
既存団体に市職員がボランティアで参加してみたらいいのでは。(具体的に問題点がよくわかるはず)

自治会の意見を聞いてほしい
限られた財政の中で、出来ること出来ないこと。出来ないことについてはその隘路を明らかにして欲しい。茅ヶ崎市の基本的な課題の理解のための情報提供がなければ、自己中心的な陳情になってしまう。
市が行なっている政策等、若い世代に広く PR・アピールする必要があると思います。自分の意見や納めた税金がどのような事に使われているのか・反映されているのか知ることが出来れば市への信頼感が高まるような気がします。また、市役所という場所をもっと身近に感じられるように近寄りやすい場所作りをするのも良いのではないかと思います。(誰もが自由にくつろげるスペースを作る、イベントを実施する等、)
自治会単位での質問吸い上げなどで身近になるのではないのでしょうか？
市に提案しても無駄だと市民に思わせない施策を、ぜひお願いします。具体的なアイデアはなく申し訳ありません。
こういった形でランダムにアンケートを配ってもいいと思う ネットでもアンケートが答えられるようにすれば隙間時間で回答することもできるしわざわざ市役所やそういった場所に行って意見を言う手間が省ける 子育て世代や働いている世代からすると意見を言いたいと思っても気軽に言えないだからこそ、どういった意見が欲しいのか市も明確にする必要があるし、その意見のターゲットも決めて、アンケートを配ることもいいと思う
【1】広報ちがさきは最近デザインも一新され、記事の配置などとても読みやすくなってありがたく思います。これだけでほとんどの方が十分な情報を得る事ができると思います。 【2】設問4の市職員についてのアンケートですが、市職員と言われても、職種は多岐に渡るため一括りで答えることは難しい質問です。例えば、先日の市役所年金課窓口の方は穏やかでわかりやすく的確な対応をしてくださいましたが、全く別の職種では思ってもみない対応がありました。クレームを言う時間さえもったいなく感じるので諦めています、採用時から民間同様のサービス向上のための教育システムなどを定期的に取り入れたらどうでしょうか。 【補足】このアンケートの内容について、すでに答えた設問に戻って答えたり、ちょうど良い選択肢がなかったり、進んだ先にも似たような設問がありそうで、スイスイ答えられず全容を把握してから答える必要がありました。限られた時間で効果的かつ効率的なアンケートを作ることは簡単ではありませんが、そのスキルがあつてこそ本当の市民の意見を吸い取れると思いますので、担当された方、大変ですがぜひ今後活かして頑張ってください。
設問4は印象について聞いているが、事象や案件により職員の対応は大きく異なると思うので、意味のある設問とは思いませんでした。
市民とは、大人だけではなくこれからの未来を担う子供達も含まれると思っています。そんな子供達の視点から見る茅ヶ崎とは？だったり、子供たちの個性溢れる斬新で豊か

な発想に耳を傾けるのも、時には必要な事かもしれないと感じます。
ネットや意見箱等にて今、困っている事や疑問を先ずは届けられるシステムをつくる
駅の改札前などの人通りが多いところに広報用のモニターやボードがあると目を通しやすい。広報紙や意見箱を置ければ尚良いかも。
広報誌で情報を得ることになじんでいるので広報誌は必ず月初めに手元に届いて欲しい。自治会に入っているのに広報誌が届くのが月の半ばなので参加機会が失われている。
実際に茅ヶ崎に住みコミュニケーションをとるのが1番だと思います。あと、市民の意見が通るということを知ってもらうことも大事かと。いつまで経っても道路が広がらないとか反映されるまで時間がかかりすぎているのも市民の意見が通っていると気づいてもらにくいのもあると思います。
すでにあるかは知らないが、インターネットを通じて、いつでもどこでも、意見や希望を伝えられると良い。
どこかの自治体が、道路の凸凹を LINE で役所に写真付きで送ると、すぐに精査して修繕してくれるようにしているという取り組みをしているという記事を見たことがあります。そんなふうに、手軽に気軽に、市民が「こうだったらいいのにな」を書き込めるようなものがほしいです。もうすでにあるのでしたら、それをもっときちんと知らせてほしいです。パブコメは募集されているものに対してしか意見を言えず、日々の生活で感じたことをかたんに伝えられる手段、知っていただける手段がほしいです。
老々介護中に忙しくて、中々他のことには気を回すことが出来ない。
市民の積極的参加は素晴らしいことだと重々承知してはいるのですが、役や係になると参加しなくてはならない会合がとて多く、二の足を踏みますし、働き盛りの世代にはとてもハードルが高いものとなっていると感じます。もっと気軽に、リモートなどで多くの市民が参加したくなるような構造ができていけば、代表で役になった人の負担が大きかったり、時間がある人だけが参加したりといったことが減っていくのかと思います。言うのは簡単で、申し訳ないのですが。
茅ヶ崎の写真をスーパーなどよく立ち寄る場所で開いてみるなど。茅ヶ崎をイメージした、ゆかりのものや人をイメージしたお菓子や料理、手芸、創作物を展示したり。それが難しかったらやっぱり写真展とか。小さくてもいいので、ふらっと気楽に自分の住む街に触れられたら楽しいと思う。去年の夏に5時のチャイムが加山雄三さんの曲になったのがすごくよかった。私はその曲を今まで知らなかったのだけど、とてもいい曲で好きになった。なので、ありきたりだけど茅ヶ崎出身アーティストの曲でミニオーケストラコンサートを開いてみたり。どうしても政治は難しいイメージがあるし、自分の住む街にもたまたまここで生まれただけと思い愛着や当事者意識が湧きにくいので、とにかくまずは気軽に茅ヶ崎を好きになる一步の機会を使ってみてはどうか。
市のこの取組をもっと多くの人に知って、参加してもらう取り組み、PR。
回覧板に市のチラシが入っていますが、文字を読むのが好きではないのであまり見てませ

ん。そういう人は結構多いんじゃないかなって思います。
SNS をもっと活用。漫画などでわかりやすく説明もいい。お年寄りには見やすいチラシ
もっと積極的な市が主宰のイベントを増やす
市役所の職員の対応が良いと思うことがない。マイナンバーカード作成の際にも担当者で異なる説明をされ、何度もやり直しをした。また外から職員の方々は見られているという意識が非常に低い。民間で働く私からは考えられないような雑談を堂々としていたり、市民がいても休み時間を優先するなど考えられない行動が見える。もっと開かれた市役所が必要なのではないだろうか。何のためにやっているのか道路工事や改修工事ではダメで、何とためにやっているのか例えば1日の通行量が非常に多い道路でありアスファルトのかけている箇所が全体の何%だからやるなどの基準を明確にする。 市を身近に感じてほしいのであれば民間企業に一部の運営を委託してみるとかも必要ではないのかなと。小学校の校庭を市民に開放しても使わないのであれば他の地域住民へ貸し出すなどして市の財政を潤すなどすると市民がもっと関心を持つのではないかと思います。
市職員と市民との接点を増やすことで顔の見える関係に繋がり、コミュニケーションがとれて信頼関係を持ちながら一緒に活動が主体的にできると思います。
子どもたちが常日頃思ってること、不便を感じてる事などの意見も気軽に取り上げられるように、ネットなどでの書き込みができるといいです。
市からの情報発信が少なく、市民に市の取り組みが分かりにくいのではないかと思います。sns 等アカウントを作成して情報発信をする事はとても素晴らしい事だと思いますが、茅ヶ崎市の sns アカウントがある事を知らない方も多くいると思います。まずは情報発信をしている媒体を市民に紹介することが大事であると思います。
市の職員の方とカジュアルに話せる機会や、イベントの開催など堅苦しくない場の設計があると良いのではないのでしょうか。はじめましての状態で、本質的な話はしばらくと思うので、まずはお互いを知ること、信頼関係を作ることからスタートできると良いのではないのでしょうか。
提案を受けた市職員はできないことの言い訳より先にどうしたら実現出来るかを考える人になってほしい